



平戸

学校HP・校長室だよりが更新されています。ぜひご覧ください。
(閲覧数4/28 現在 117782人)



経験から感じる・学ぶ

校長 若色 昌孝

ある子と話していたら、こう私に教えてくれました。「あのね、イルカにさわったことあるの。」 「そうなんだ！ どんな感じだった？」 「あのね、あたまは、トウモロコシみたいにツルツとしたかんじだったよ。」

頭がトウモロコシみたいにツルツと…！ 私はその子の瑞々しい感性に感心してしまいました。私だったらどう表現するかなあ…とも思いました。現代は、様々なことをパソコンやスマートフォンですぐに調べられます。知りたいことはAIがこちらの気持ちまで推し量って教えてくれる時代です。子どもたちを取り巻くこのような生活環境だからこそ、実際に経験すること、そしてその経験から感じたことを今までの自分の経験に合わせて表現することがとても大切だと思うのです。それはもちろん、イルカの肌の触感だけではなく、冷たい小川の流れの感覚、初めて食べる食材の食感、森の中で聴く鳥の声、ほのかに光るホタルの発光、土の冷たさや温かさ、バラのとげの痛さ…そういうものすべてが、子どもたちにとって大切な経験なのだと思います。

給食のメニューが魚の時、魚は好きだけれど、小さな骨があるかもしれないから食べたくない、柑橘系のデザートの際は、フルーツは好きだけれど自分で皮をむきたくない…そんな場面をよく見ます。無理に食べなさい…ということではなく、新しい経験に自ら一歩すすんで取り組めると、その子の経験値はどんどん増えていくだろうと思うのです。

横浜という大きな都市でありながら、豊かな自然に囲まれたこの平戸の地で、子どもたちにとって貴重な経験が増えていくこと、実感を伴った子どもたちの学びが深まることを、今年度も平戸小学校の様々な教育場面で追い求めていきたいです。



砂場遊びも貴重な経験